

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 千葉市立白井小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒265-0053

千葉市若葉区野呂町215

E-mail : shiraiELS@city.chiba.lg.jp

Website : http://www.cabinet-cbc.ed.jp/school/es/031/index.html

児童生徒数：男子 93名 女子 106名 合計 199名

児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ボランティア、募金）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

1 平成25年度の主題

ユネスコスクール研究主題
広い視野に立ち、豊かな心をもった白井っ子の育成
～知ろう！話そう！白井のこと、世界の国のこと～

本校は、明治6年の開校から140年以上の歴史と伝統、地域や自然環境に恵まれた学校である。そこで、学校教育目標「確かな学力と豊かな心を持ち、たくましく生きる白井っ子の育成」を受け、この地区の人々が育んできた自然と伝統を受け継いでいくとともに、広い視野に立ち、異なる文化や習慣をもった人々と共に生きていく資質や能力を育てていきたいと考え、研究主題を設定した。

また、低学年では、「世界には、自分の住んでいる地域とは異なるいろいろな文化や習慣があることを知ること」高学年では「世界（自分の住んでいる地域以外）と日本（白井地区）と異なる文化や習慣があることに気付くこと」をめざして実践をしている。

2 主な実践内容

① 書き損じハガキの回収

年間を通して、児童会の活動として各学級に書き損じハガキPOSTを設置し、回収を行っている。

校内放送でどのように使われているのかを知らせ、協力を呼びかけた。



<放送の内容>
書き損じハガキ1枚でできること
アフガニスタンでは・・・
ノート2冊
インドでは・・・石盤1個
カンボジアでは・・・
消しゴム2個
ラオスでは・・・
チョーク35本
ネパールでは・・・
えんぴつ7本

② 募金活動

4月27日（土）の学習参観・懇談会に合わせ、募金活動を行った。学習参観に活動期間を合わせることで、児童ばかりではなく保護者への啓蒙が図れるのではないかと考えた。また、その他の参観等、多くの保護者が来校する際には、募金箱を設置し協力を呼びかけた。



③ ユネスコスクール

白井小学校は、千葉ユネスコ協会の協力により、これまでネパール（22年度）、スリランカ（23年度）、インドネシア（24年度）との

異文化交流をさせていただくことができました。そして、25年度も千葉ユネスコ協会副会長の岡本博幸先生や高井義信先生、中田陽一先生、栄教子先生の協力を得ながら、11月16日（土）に千葉大学のマレーシアからの留学生8名の方々と異文化交流を行った。当日は、白井っ子まつり（学習発表会）とPTAバザーの間にユネスコスクールを行う計画を立て、より多くの保護者に参観してもらえるようにした。

<ユネスコスクール実施前の取り組み>

3年間実施の課題から、児童の関心意欲を高め、効果的にユネスコスクールを実施するためには、「事前学習⇒当日⇒振り返り」といった学習過程を大切にしていく必要があるということがはっきりしてきた。

そこで、今年度は、事前学習として全校にマレーシアの料理や言葉についてのワークシートを配付し、それぞれの学年の児童の実態に応じた取り組みを行った。

また、図書館指導員と連携し、掲示物を作成したり、読み聞かせをしたりするなどマレーシアと関連付けていくような環境作りをしていった。

<当日の日程>

8:35~10:35	白井っ子まつり
10:45~12:00	ユネスコスクール
12:10~13:00	留学生の方との会食



<ユネスコスクールのプログラム>

- ① はじめの言葉
- ② 校歌斉唱
- ③ 学校長挨拶
- ④ ユネスコ協会の方及び留学生の皆さんの紹介
- ⑤ 交流
 - ・ユネスコの役割と活動について（中田先生）
 - ・メンバーの紹介（留学生の皆さん）
 - ・マレーシアの紹介（留学生の皆さん）
 - ・ファッションショー（留学生の皆さん・教職員）
 - ・マレーシアの子どものゲーム（留学生の皆さん）
 - ・マレーシアの舞踊（留学生の皆さん）
 - ・質疑応答（留学生の皆さん）
- ⑥ お礼の会
 - ・4年生の発表 ものけ姫（リコーダー演奏）
もみじ（二部合唱）
オーラリー（リコーダー演奏）
 - ・お礼の言葉、花束贈呈
- ⑦ おわりの言葉

<当日の活動の様子>

マレーシアからの留学生の方々による自己紹介に始まり、マレーシアの民族衣装の紹介、そして、一緒にゲームなどをして楽しみました。

ファッションショーの様子



みんなでゲームを楽しんでいる様子

ホールにおける交流後、各学級に分かれてマレーシアからの留学生の方々と一緒に会食をした。マレーシアの生活や子どもたちの様子など様々なことについて日本とは違う文化に触れることができ、貴重な時間を過ごすことができた。

一緒に会食をしている様子



最後には、マレー語で「スラムッ ジャラン・ジュンパ ラギ」と言って笑顔でお別れをした。

(さようなら またお会いしましょう)

<ユネスコスクール実施後の取り組み>

ユネスコスクール実施後の感想をカードに書き、中田陽一先生を通じて、来校して下さった留学生の方に送った。

① 地域との交流

自分の住んでいる地域のことを知り、地域を愛する心を育てるために地域の方々の協力を得て、
広い視野に立ち、豊かな心をもった白井っ子の育成を目指して様々な活動を行った。

バス停にプランターを設置し、地域の方との触れ合いを深める。



<学区探検>



<どんど焼き>

日本の新年行事であるどんど焼きに地域の方と行き、地域の伝統文化を体験する。



※どんど焼きとは、子どもたちの無病息災を祈り、

正月飾りなどを焚きあげる伝統行事。

<ふれあい活動>

地域のお年寄りから昔の遊びを教えていただき、一緒に遊ぶ。



3 実践を振り返って

ユネスコスクールに加盟し2年目を迎え、様々な体験活動を通して豊かな心を育むことができた。これからも学校のみならず保護者や地域の方々とともに、「広い視野に立ち、豊かな心もった白井っ子の育成」を目指してより一層の教

育活動の充実を図っていききたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）